

## 平成 30 年度防災対策事業の実績について

### 1 総合防災訓練

八戸市地域防災計画に基づき、国、県及びその他の防災関係機関並びに地域住民参加のもと、大規模地震発生時の応急対策並びに津波及び地震に伴う避難行動を、迅速かつ円滑に実施できるように訓練するとともに、防災体制の強化、地域住民の防災意識の高揚を図ることを目的とする。

平成 29 年 5 月開館の「八戸市津波防災センター」を活用する初めての総合防災訓練として、地震・津波を想定し、地区の自主防災会や園児・児童生徒等による避難訓練等を実施した。

(1) 実施日時 平成 30 年 8 月 31 日（金）8:13～12:00

(2) 実施場所 沼館・城下地区及び三八城地区

（八戸市公民館、八戸市津波防災センター、沼館緑地公園等）

(3) 主 催 八戸市、八戸地域広域市町村圏事務組合消防本部、八戸圏域水道企業団

(4) 参加人員 約 1,800 名

①沼館・城下地区防災会、沼館・城下振興会、三八城地区防災会、三八城連合町内会

②青葉保育園、城下保育園、こぼと保育園、八戸小学校、城下小学校、第二中学校

③防災関係機関・団体

（青森地方气象台、陸上自衛隊、海上自衛隊、航空自衛隊、八戸警察署等）

(5) 訓練項目 地震発生時初期対応訓練（情報伝達訓練等）、津波避難対応訓練（八戸市津波防災センターへの避難等）、地域自主防災訓練（避難所運営訓練等） 等

### 2 災害図上訓練

#### (1) みちのく ALERT2018 と連携した第 1 回災害図上訓練及び実動訓練

陸上自衛隊が実施する「みちのく ALERT2018」に合わせて、市、関係団体、地域住民等が連携して災害図上訓練及び実動訓練を実施するものとし、地震災害発生時の迅速、的確かつ総合的な応急対応行動の訓練を行うことにより、八戸市の防災体制の強化及び災害対応力の向上を図る。

<みちのく ALERT2018 の概要>

3～4年に1回実施される陸上自衛隊の災害対応訓練であり、自治体、関係機関、陸・海・空の自衛隊が連携して大規模演習を実施することにより、東北地区の災害対応能力の向上を図るもの。

今回は、日本海溝・千島海溝周辺海溝型地震及び大規模津波などの想定のもと、東北6県及び138市町村の自治体が参加し、平成30年11月9日（金）から11日（日）の3日間で行われた。

#### ① 実施日時

・第1回災害図上訓練 平成30年11月9日（金）8:15～17:00

・実動訓練 平成30年11月11日（日）8:00～12:30

#### ② 訓練概要

・第1回災害図上訓練（参加人員：約210名）

災害対策本部従事職員による災害発生から本部開設までの初動対応行動を確認するほか、災害対策本部員会議の開催、陸上自衛隊や各避難所との情報伝達訓練などを実施した。

#### 【実施場所】

ア 市庁舎（災害発生～災害対策本部の開設準備、災害対策本部員会議、情報伝達訓練等）

イ 小・中学校及び公民館等の指定避難所（情報伝達訓練）

- ・実動訓練（参加人員：約 250 名）

陸上自衛隊のヘリコプターによる津波避難ビル（八戸市水産会館）からの救助・救出・人員輸送訓練のほか、ヘリコプター及び車両による物資輸送訓練、白銀自主防災会の避難訓練及び避難誘導訓練、白鷗小学校での避難所開設訓練などを行った。

【実施場所】

- ア 市庁舎（陸上自衛隊との情報伝達訓練）
- イ 白銀地区及び白鷗小学校（避難訓練及び避難所開設訓練）
- ウ 八戸市水産会館、新井田川水防センター、八戸圏域水道企業団、八戸東運動公園陸上競技場（救助・救出・人員輸送・物資輸送訓練）

(2) 第 2 回災害図上訓練

八戸市地域防災計画に基づき、避難所となった施設の学校職員及び避難所が所在する各自主防災会の協力を得て、避難所運営ゲーム（HUG）を活用した避難所運営訓練を実施し、市職員等の防災力のスキルアップを図る。

① 実施日時 平成 31 年 1 月 30 日（水）9:00～12:00

② 実施場所 市庁別館 2 階 会議室 C

③ 参加人員（54 名）

- ア 各部の市職員
- イ 訓練対象小・中学校の教諭
- ウ 自主防災会（小・中学校の所在する自主防災会）
  - ・湊地区連合町内自主防災会及び湊高台連合町内会自主防災会（青潮小学校）
  - ・金浜地区自主防災会（金浜小学校）
  - ・是川団地町内防災会（是川小学校）
  - ・根城地区連合町内会自主防災会（根城小学校）
  - ・沼館・城下地区防災会（城下小学校）
  - ・三八城地区防災会（第二中学校）

④ 訓練内容

第二中学校、是川小学校、根城小学校、青潮小学校、金浜小学校及び城下小学校が避難所となったことを想定し、避難所運営ゲーム（HUG）を活用した避難所運営訓練を実施した。

<HUG>

図上訓練の一手法で、「Hinanzyo（避難所）」、「Unei（運営）」、「Game（ゲーム）」の頭文字を取って HUG（ハグ）と読み、英語で抱きしめるという意味になる。避難者の受入れをワークショップの技術を活用して模擬体験する訓練。